

日本工学院専門学校		開講年度	2019年度		科目名	総合業界研究 1	
科目基礎情報							
開設学科	音響芸術科		コース名	全コース		開設期	前期
対象年次	1年次		科目区分	必修		時間数	30時間
単位数	1単位					授業形態	講義
教科書/教材	なし						
担当教員情報							
担当教員	佐倉 繁			実務経験の有無・職種	有 作曲家		
学習目的							
この科目では音楽制作業の全体像や成り立ちを理解し、それらの情報を自らのキャリアデザインに活用することを目的とします。講義の中では様々な音楽業について紹介するにとどまらず、そこから学生独自の視点で音楽制作業を立体的に再構築し、自身の就職活動、進路選択に活用出来る人材の育成を目指す。							
到達目標							
自分の進路、将来の就業、についての展望を形成することを目標とする。講義の中では音楽制作に関する研究テーマを与え、それについてのレポートを制作する過程において、自身の就業に対する考え方を整理し発展させることを目標とする。							
教育方法等							
授業概要	PCによる投影プロジェクション、映像資料閲覧、ゲストスピーカーの招聘などを通して、板書や話だけでなくビジュアルとして印象に残る授業を行う。						
注意点	ノート記録に加えて「情報の再構築」（手作業またはデジタル機器の活用）を必須とする。 前回の修得項目の復習、次回の授業に向けての「リサーチ項目」「事前準備項目」の確認。 版書に留まらず、講師の話の内容や気づいた点をノートに記す習慣を1年次に確立する。 授業時数の4分3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。						
評価方法	種別	割合	備 考				
	試験・課題	0%					
	小テスト	0%					
	レポート	50%	研究テーマを与えそれに対するレポートを提出し評価				
	成果発表 (口頭・実技)	0%					
	平常点	50%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する				
授業計画（1回～15回）							
回	授業内容			各回の到達目標			
1回	本年度の授業の進行について			講義の概要“contents”（コンテンツ）という視点から			
2回	Media			Media（伝達・記録媒体）の変遷について			
3回	音楽メディアの変遷1			メディアの進化によるコンテンツの変化、制作手法・環境の変化			
4回	音楽メディアの変遷2			～レコーディングシステムの変化による制作コンテンツの変化～			
5回	音楽記録メディアの変遷3			real timeの演奏から 時間を隔てたOver Dubbing Layerへ			
6回	音楽記録メディアの変遷4			Beatles“Sergent Pappers Lonely Hearts Club Band”			
7回	音楽の物理的側面について			音を5線譜に記す（A=440hz） 譜面というメディア			
8回	周波数を体感する ～テストトーンを試聴～			倍音について ヒトの可聴域と記録メディア			
9回	音楽の時間軸について			Beat - Pulse - rhythm - groove 2分割と3分割のリズムを聞分ける			
10回	Beat - Pulse - rhythm - groove			Beatの分割～rhythmの成立 - 1 教則映像からの情報 「drum教則映像を活用する」			
11回	Beat - Pulse - rhythm - groove			Beatの分割～rhythmの成立 - 2 「前期課題提出」について			
12回	効果音作成			電子音楽、Music Installation、Stomp、Art - Entertainment - Attraction - Life Style			
13回	前期講義内容の振り返り			21世紀のコンテンツ制作について			
14回	「特別講義」に向けて			rhythm sectionについての考え方			
15回	rhythm section			rhythm section について 各楽器の特性・構造・演奏法			